

フンって言われたんだって 退出点呼の後 運転助役さんに

⑦

2010. 11. 11

JR東海労東二運分会

熱心に BQの向上 に苦労している みなさん

「こんな事がありました」と、組合員 A さんからの話しです
かいつまんで言うと

昔 むかしではなく、つい最近ですが、運転担当車掌で乗務した折、東京から新横浜まで 熱い営業助役さんの添乗（迷惑なこと多々ありも詳細は後日とのこと）があったとさ。当然と言えば当然、新横浜到着 直前の「指摘事項」が一方的にあったそうさ。

A さんは退出点呼で、乗務報告書に ○○助役の添乗あり、と書いて報告をしたそうさ。すると、A さんの報告に対して運転助役さんは、指導されたことを書くように。「業務指示です」と迫ったんだとさ。

A さんは、到着直前だったのでハッキリとは覚えていませんが、思い出したことは手帳に書いてあります。指摘は、私の業務ではないので、報告書には書きません。指摘内容が必要なら、指摘した営業助役さんに聞いてください、と言ったそうさ。

運転助役さんは、「業務指示です。書くように」「書かないんですね。○時○分（この時すでに退出時刻は過ぎていたそう）、業務指示違反」と宣言して、乗務報告書に「業務指示違反」のスタンプを勢いよく押した、はずだったのさ。ところが 不幸なことに さ

点呼も終わろうとしたその時、異変？ に気付いた運転助役さんは「前訓と間違った」、と言って別のスタンプを押し、最初に押した所に色鉛筆で二本線（訂正印はなかったそう）をくれたそうさ。程なく退出点呼を終えた A さんが、点呼カウンターを離れる折「助役さんも間違えることがあるんですね」と言ったとさ。

その一言に運転助役さん。素早く反応して、くだんの「フン」を發したんだと。A さんは驚きも忘れたそうで、JR東海ブランドはともかく、職場管理者のクォリティーはこの程度か、と嘆いてたよ。でも、助役さんも俺らと同じ間違いも犯す 人の子 なんだなア～って 苦笑っていたさ。A さん、優しくて 寛容だネ

「分別を 知るか知らずか フンは別」 CD 頑爺